

Long-term visual acuity outcomes following cataract surgery in eyes with ocular inflammatory disease

Gangaputra S, Newcomb C, Armour R, Choi D, Ying GS, Groth S, Begum H, Fitzgerald T, Artornsombudh P, Daniel E, Bhatt N, Foster S, Jabs D, Levy-Clarke G, Nussenblatt R, Rosenbaum JT, Sen HN, Suhler E, Thorne J, Dreger K, Buchanich J, Kempen JH; Systemic Immunosuppressive Therapy for Eye Diseases (SITE) Research Group.

Br J Ophthalmol. 2024 Feb 21;108(3):380-385. doi: 10.1136/bjo-2022-322236.

成人および小児を含むぶどう膜炎患者の大規模なコホートを対象に、白内障手術後の視力転帰とその関連因子について分析しています。ぶどう膜炎の解剖学的な分類には関係なく、白内障手術後3ヶ月以内に視力が改善し、その効果は少なくとも5年間維持されていることを見出しています。視力が有意に改善されることが多かったのは、前部ぶどう膜炎（強膜炎）・非活動期にある患者・超音波乳化吸引術を受けた患者・および眼内レンズを挿入した患者でした。成人では手術直後の視力が良好であることが多いのですが、一方で小児では、40%の患者で1年後に視力が有意に改善していました。結論として、白内障手術はぶどう膜炎で白内障に罹患している患者で視力を大幅に改善させる効果があると報告されています。

(担当者： 大阪大学 丸山和一)